

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社メイテック

コード番号 9744 URL <http://www.meitec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 甲介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 上村 正人

TEL 経営情報部
03-5413-0131

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	39,145	△36.4	△4,565	—	△858	—	△1,294	—
21年3月期第3四半期	61,502	—	7,766	—	7,757	—	4,062	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△39.04	—
21年3月期第3四半期	119.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	45,909	33,031	71.5	990.45
21年3月期	54,230	36,169	66.1	1,081.85

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 32,834百万円 21年3月期 35,864百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	47.00	—	28.00	75.00
22年3月期	—	24.50	—		
22年3月期 (予想)				0.00	24.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,500	△34.3	△5,800	—	△800	—	△1,200	—	△36.19

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	35,100,000株	21年3月期	35,100,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,949,527株	21年3月期	1,949,447株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	33,150,478株	21年3月期第3四半期	33,967,124株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 連結の経営成績

〔表1〕当四半期連結累計期間における連結業績の概要(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(百万円未満切捨て)	前年同四半期 連結累計期間	当四半期 連結累計期間	〔9ヶ月間累計〕	
			増減額	増減率
売上高	61,502	39,145	△22,357	△36.4%
売上原価(△)	43,610	34,942	△8,668	△19.9%
販管費(△)	10,126	8,768	△1,357	△13.4%
営業損益	7,766	△4,565	△12,331	—
営業外損益	△8	3,706	3,715	—
うち助成金収入	—	3,699	3,699	—
経常損益	7,757	△858	△8,615	—
税金等調整前純損益	7,410	△855	△8,266	—
四半期純損益	4,062	△1,294	△5,356	—

当四半期連結累計期間(9ヶ月間:平成21年4月1日～平成21年12月31日)については、主要顧客である大手製造業の技術開発投資予算も含めたコスト削減策等が未だ継続しており、事業環境は依然として厳しい状況にあります。

掛かる状況下、当社グループの中核事業である技術者派遣事業において、営業努力等による技術者の契約開始数に改善の動向が見られるものの、期初からの稼働率の低迷等を主因に、当四半期累計期間の連結売上高は、前年同期比223億57百万円減収の391億45百万円となりました。

連結売上原価については、派遣事業での労務費の減少等を主因に、前年同期比86億68百万円減少の349億42百万円、連結販管費は未稼働技術者への教育訓練に伴う費用による増加影響を受けつつも、技術者の採用関連費用の抑制等により前年同期比13億57百万円減少の87億68百万円となりました。この結果、連結営業損失は45億65百万円となりました。

また、多数のエンジニアを常時雇用する当社グループでは、雇用調整助成金の受給を申請しており、営業外収益として36億99百万円の助成金収入を計上し、連結経常損失は8億58百万円、連結四半期純損失は12億94百万円となりました。

(2) 事業セグメント別の経営成績

〔表2〕当四半期連結累計期間における事業セグメント別業績の概要(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(百万円未満切捨て)	グループ					
	連結 〔9ヶ月間累計〕	派遣事業	エンジニアリング ソリューション事業	グローバル 事業	キャリア サポート事業	連結消去
売上高	39,145	36,827	1,869	502	431	△486
構成比	100%	94.1%	4.8%	1.3%	1.1%	△1.3%
前年同期比	△22,357	△20,496	△566	△469	△1,059	+233
上記増減率	△36.4%	△35.8%	△23.3%	△48.3%	△71.0%	—
営業利益	△4,565	△4,106	58	△530	1	11
構成比	100%	90.0%	△1.3%	11.6%	△0.0%	△0.3%
前年同期比	△12,331	△12,223	△47	△137	+92	△16

① 派遣事業

連結売上高の9割超を占める派遣事業、特に中核事業の技術者派遣事業については、営業努力等により、技術者の稼働率などに改善が見られるものの、大手製造業の技術開発投資予算も含めたコスト削減策の継続等の影響を受けて、期初より稼働率の低迷を余儀なくされました。

これら稼働率の低迷等を主因として、派遣事業における当四半期累計期間の売上高は、前年同期比204億96百万円減収の368億27百万円となりました。

営業損益は、労務費を中心とする原価の低減や、採用関連費用を中心とする販管費の抑制を図りましたが、売上高の減収影響を補いきれず、41億6百万円の損失となりました。

このように、依然として厳しい事業環境が継続していますが、派遣事業における事業統合による合理化や営業力強化等を図り、主要顧客の大手製造業における「攻めの技術開発投資」の動向を的確に捉え、稼働率の更なる改善・向上に努めて参ります。

[表3]メイテックグループの技術者派遣事業の状況

		平成21年3月期 前年同四半期累計期間 (9ヵ月)/会計期間末	平成22年3月期 当四半期累計期間 (9ヵ月)/会計期間末	
MT*1+MF*2+MGS*3+CAE*4		期末技術者数*1	7,837人	7,596人
MT*1+MF*2+MGS*3		期末技術者数*1	7,767人	7,508人
		稼働率(全体)	94.1%	67.8%
		稼働率(新入社員*2を除く)	96.2%	74.1%
(株)メイテック*1		期末技術者数*1	5,982人	5,837人
		稼働率(全体)	96.1%	70.3%
		稼働率(新入社員*2を除く)	97.9%	74.6%
(株)メイテックフィルダース*2		期末技術者数	1,454人	1,392人
		稼働率(全体)	94.4%	67.2%
		稼働率(新入社員*2を除く)	97.8%	73.3%
(株)メイテックグローバルソリューションズ*3		期末技術者数	331人	279人
		稼働率(全体)	46.9%	23.9%
		稼働率(新入社員等*3を除く)	49.0%	56.7%
(株)メイテック CAE *4		期末技術者数	70人	88人

		平成21年3月期		平成22年3月期		
		第3四半期 累計期間 (3ヵ月) /20年12月末	第4四半期 累計期間 (3ヵ月) /21年3月末	第1四半期 累計期間 (3ヵ月) /21年6月末	第2四半期 累計期間 (3ヵ月) /21年9月末	第3四半期 累計期間 (3ヵ月) /21年12月末
(株)メイテック*1	期末技術者数*1	5,982人	5,788人	5,995人	5,878人	5,837人
	稼働率(全体)	96.7%	91.7%	71.6%	68.7%	70.4%
控除した社内 派遣従事者数*4	期末技術者数	33人	158人	201人	249人	218人
	稼働率(全体)	95.4%	88.8%	66.0%	65.1%	70.5%

*1:(株)メイテック、*2:(株)メイテックフィルダース、*3:(株)メイテックグローバルソリューションズ、*4:(株)メイテック CAE

※1:(株)メイテックの技術者数は、社内技術業務に従事している社内派遣従事者*4を控除しています

※2:新卒採用社員及び中途採用社員の合算

※3:中途採用社員及び一時帰休者の合算

※4:社内派遣従事者は、未稼働技術者への社内研修講師等の社内技術業務に従事しています

ご参考: 月次・四半期毎の稼働率実績等は、次の URL からご覧頂けます。(当社HP) <http://www.meitec.co.jp/ir/financial/index.htm>
平成22年1月末の稼働率実績等は、P16に記載

② エンジニアリングソリューション事業

エンジニアリングソリューション事業は、解析関連技術、試作・金型製作・成型関連の技術サービス及びプリント基板事業等の技術支援事業を行っています。

エンジニアリングソリューション事業における当四半期累計期間の売上高は、前年同期比 5 億 66 百万円減収の 18 億 69 百万円、営業利益は前年同期比 47 百万円減益の 58 百万円となりました。

解析関連技術を行う株式会社メイテック CAE は、株式会社スリーディーテックからの事業受け入れのみならず、サービス内容の拡充や営業強化等が功を奏し、増収増益を達成しています。一方、プリント基板事業を行うアポロ技研グループは、市況悪化等に伴い、減収減益、営業損失となりました。

③ グローバル事業

グローバル事業は、主にブリッジエンジニア事業(中国の研修事業拠点で育成した中国人エンジニアを日本に招聘し派遣する事業)と中国での教育事業及び人材紹介事業を行っています。

グローバル事業における当四半期累計期間の売上高は、前年同期比 4 億 69 百万円減収の 5 億 2 百万円、営業損益はブリッジエンジニアの配属に時間を要している事を主因に 5 億 30 百万円の損失となりました。

④ キャリアサポート事業

キャリアサポート事業は、主にエンジニアに特化した職業紹介事業及び情報ポータルサイト事業を行っています。

キャリアサポート事業の当四半期累計期間の売上高は、平成 21 年 5 月 1 日に日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社の再就職支援事業をテンプスタッフ株式会社に譲渡した影響等により、前年同期比 10 億 59 百万円減収の 4 億 31 百万円、営業利益は前年同期比 92 百万円増益の 1 百万円となりました。

中核事業である技術者派遣事業の実績を活かしたエンジニア特化型の職業紹介事業を行う株式会社メイテックネクストは、市況悪化で厳しい環境下にあり営業損失を計上しましたが、赤字額は前期比で縮小しています。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産の状況

当四半期連結会計期間末(平成 21 年 12 月 31 日)の連結総資産は、前連結会計年度末(平成 21 年 3 月 31 日)に比して 83 億 20 百万円減少し、459 億 9 百万円となりました。

これは、現金及び預金の減少並びに受取手形及び売掛金の減少に伴い流動資産が前連結会計年度末比で 66 億 90 百万円減少し、266 億 5 百万円となった事等が主因です。

なお、現金及び預金の減少は、当四半期連結累計期間の経営成績の結果の反映に加えて、賞与の支給、法人税の納付、配当金の支払い等が主因です。

(2) 負債の状況

当四半期連結会計期間末の連結負債は、前連結会計年度末に比して 51 億 82 百万円減少し、128 億 78 百万円となりました。

これは、流動負債が前連結会計年度末比で 57 億 41 百万円減少し、52 億 85 百万円となった事等が主因です。

なお、流動負債の減少は、賞与支給等に伴う未払費用の減少、法人税納付に伴う未払法人税等の減少等が主因です。

(3) 純資産の状況

当四半期連結会計期間末の連結純資産は、前連結会計年度末に比して 31 億 38 百万円減少し、330 億 31 百万円となりました。

これは、株主資本が前連結会計年度末比で 30 億 34 百万円減少し、337 億 12 百万円となった事等が主因です。

なお、株主資本の減少は、当四半期連結累計期間の経営成績の結果の反映や配当金の支払い等が主因です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(1) 業績予想

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月12日に公表した業績予想(平成22年3月期通期)を下記の通り修正いたします。

① 連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	51,000	△7,600	△2,600	△2,500
今回発表予想(B)	52,500	△5,800	△800	△1,200
増減額(B-A)	+1,500	+1,800	+1,800	+1,300

中核事業の技術者派遣事業における派遣契約開始数の増加等を背景に、前回予想発表時点の見通しと比較して稼働率の改善、稼働時間の伸長が見込まれる事などを主因として、連結売上高は前回発表予想比15億円上方修正し、新たな予想値を525億円とします。

なお、営業損失予想は前回比18億円上方修正の58億円、経常損失は前回比18億円上方修正の8億円、当期純損失は前回比13億円上方修正の12億円へ、それぞれ修正します。

また、多数のエンジニアを正社員として常時雇用する当社を含むグループ会社は雇用調整助成金の受給を申請している為、今回発表予想には現時点の受給見込み金額49億円程度を織り込んでいます。

② 個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	39,000	△5,000	△1,100	△1,500
今回発表予想(B)	40,500	△3,500	400	△200
増減額(B-A)	+1,500	+1,500	+1,500	+1,300

連結業績予想と同様に、稼働率の改善、稼働時間の伸長等を主因に、業績予想を上方修正します。

③ 通期業績予想の前提条件

	(株)メイテック	(株)メイテックフィルダーズ	(株)メイテックグローバルソリューションズ
稼働率(全体)	71.5%	69.6%	28.7%
下半期見込	72.8%	73.8%	32.7%
稼働時間	8.53h/day	8.60h/day	7.86h/day

(2) 配当予想

平成21年11月12日に公表しました配当予想から修正は行っておりません。

(3) 次年度の業績見通し

従前、当社グループにおいては、第3四半期決算発表時に次年度の業績見通し(連結及び当社単体の売上高と営業利益)をお知らせしてきました。しかし、先行き不透明感が根強く、現時点において合理的な次年度の業績見通しを発表する事は困難と判断しました。

従いまして、次年度(平成23年3月期)業績見通しについては、平成22年3月期の年度決算発表時に開示する予定です。

ご注意:本業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②税金費用の計算

税金費用については、当四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,540,896	18,526,243
受取手形及び売掛金	8,303,227	10,985,629
仕掛品	430,800	434,673
その他	4,335,236	3,362,980
貸倒引当金	△4,504	△13,686
流動資産合計	26,605,655	33,295,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,209,577	8,637,957
その他(純額)	4,049,693	4,180,921
有形固定資産合計	12,259,270	12,818,878
無形固定資産		
のれん	—	195,000
その他	2,824,568	3,292,548
無形固定資産合計	2,824,568	3,487,548
投資その他の資産		
その他	4,506,057	4,956,676
貸倒引当金	△285,595	△328,287
投資その他の資産合計	4,220,461	4,628,389
固定資産合計	19,304,301	20,934,816
資産合計	45,909,956	54,230,657
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	97,983	84,218
未払費用	3,811,479	7,000,354
未払法人税等	47,529	1,214,421
引当金	—	92,820
その他	1,328,509	2,634,693
流動負債合計	5,285,501	11,026,508
固定負債		
退職給付引当金	7,547,934	6,988,404
その他	45,506	46,348
固定負債合計	7,593,441	7,034,752
負債合計	12,878,942	18,061,260

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,825,881	16,825,881
資本剰余金	14,451,416	14,451,738
利益剰余金	8,326,279	11,360,915
自己株式	△5,891,046	△5,891,268
株主資本合計	33,712,531	36,747,267
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,843	11,443
土地再評価差額金	△883,049	△883,049
為替換算調整勘定	△7,218	△11,644
評価・換算差額等合計	△878,424	△883,250
少数株主持分	196,907	305,379
純資産合計	33,031,014	36,169,396
負債純資産合計	45,909,956	54,230,657

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	61,502,933	39,145,048
売上原価	43,610,537	34,942,007
売上総利益	17,892,396	4,203,041
販売費及び一般管理費	10,126,191	8,768,562
営業利益又は営業損失(△)	7,766,205	△4,565,520
営業外収益		
受取利息	15,540	9,517
受取配当金	7,871	5,747
助成金収入	—	3,699,193
その他	40,628	51,023
営業外収益合計	64,039	3,765,481
営業外費用		
支払利息	167	3
コミットメントフィー	15,758	15,692
為替差損	39,003	17,798
その他	18,042	25,165
営業外費用合計	72,972	58,659
経常利益又は経常損失(△)	7,757,272	△858,698
特別利益		
投資有価証券売却益	4,940	11,945
貸倒引当金戻入額	3,651	26,150
その他	2,341	690
特別利益合計	10,933	38,786
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	289,195	31,766
その他	68,386	4,044
特別損失合計	357,581	35,813
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,410,624	△855,724
法人税等	3,328,671	452,089
少数株主利益又は少数株主損失(△)	19,865	△13,579
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,062,086	△1,294,235

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	派遣事業 (千円)	エンジニア リングソ リューション 事業 (千円)	グローバル 事業 (千円)	キャリア サポート 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	18,824,190	564,546	277,445	439,890	20,106,072	—	20,106,072
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	37,417	131,481	61,048	15,762	245,709	(245,709)	—
計	18,861,607	696,027	338,494	455,652	20,351,781	(245,709)	20,106,072
営業利益又は営業損失(△)	2,600,812	19,244	△185,112	△59,181	2,375,762	13,246	2,389,008

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	派遣事業 (千円)	エンジニア リングソ リューション 事業 (千円)	グローバル 事業 (千円)	キャリア サポート 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	57,190,259	2,059,192	812,590	1,440,891	61,502,933	—	61,502,933
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	134,160	376,775	159,119	49,957	720,013	(720,013)	—
計	57,324,420	2,435,967	971,709	1,490,848	62,222,946	(720,013)	61,502,933
営業利益又は営業損失(△)	8,116,772	105,726	△393,392	△90,465	7,738,641	27,564	7,766,205

(注) 1 事業区分の方法

事業はその内容と市場の類似性を考慮して区分しております。

当社グループでは、派遣事業、エンジニアリングソリューション事業、グローバル事業、キャリアサポート事業の4つの事業に分類しております。

2 各区分の主な事業内容

①派遣事業・・・ 技術者派遣事業を中心としたフルライン型派遣事業

②エンジニアリングソリューション事業・・・

解析、プリント基板設計、金型試作等のサービスコンテンツ事業

③グローバル事業・・・ 海外エンジニアの育成事業、人材供給事業

④キャリアサポート事業・・・ 再就職支援事業、職業紹介事業

3 会計基準等の改正に伴う変更

①四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更の「2. 会計処理基準に関する事項の変更」の「(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。これによる当第3四半期連結累計期間における各々の事業の種類別セグメントの損益に与える影響は軽微であります。

②四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更の「2. 会計処理基準に関する事項の変更」の「(2) 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。これによる当第3四半期連結累計期間における「グローバル事業」の損益に与える影響は軽微であります。なお、その他の事業である「派遣事業」、「エンジニアリングソリューション事業」、及び「キャリアサポート事業」においては影響はありません。

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	派遣事業 (千円)	エンジニア リングソ リューション 事業 (千円)	グローバル 事業 (千円)	キャリア サポート 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	12,199,397	540,687	120,531	80,980	12,941,598	—	12,941,598
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,349	109,338	38,012	—	165,700	(165,700)	—
計	12,217,746	650,026	158,544	80,980	13,107,298	(165,700)	12,941,598
営業利益又は営業損失(△)	△1,204,317	45,495	△147,755	△13,495	△1,320,073	2,578	△1,317,495

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	派遣事業 (千円)	エンジニア リングソ リューション 事業 (千円)	グローバル 事業 (千円)	キャリア サポート 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	36,764,558	1,548,872	400,198	431,420	39,145,048	—	39,145,048
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	63,332	320,414	102,291	254	486,293	(486,293)	—
計	36,827,890	1,869,287	502,489	431,674	39,631,342	(486,293)	39,145,048
営業利益又は営業損失(△)	△4,106,693	58,407	△530,625	1,871	△4,577,039	11,519	△4,565,520

(注) 1 事業区分の方法

事業はその内容と市場の類似性を考慮して区分しております。

当社グループでは、派遣事業、エンジニアリングソリューション事業、グローバル事業、キャリアサポート事業の4つの事業に分類しております。

2 各区分の主な事業内容

- ①派遣事業・・・ 技術者派遣事業を中心としたフルライン型派遣事業
- ②エンジニアリングソリューション事業・・・
解析、プリント基板設計、金型試作等のサービスコンテンツ事業
- ③グローバル事業・・・ 海外エンジニアの育成事業、人材供給事業
- ④キャリアサポート事業・・・ 職業紹介事業

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高の合計が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高の合計が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

主な変動事由は剰余金の配当であり、配当金支払額は次のとおりであります。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成21年11月12日 取締役会	普通株式	812,185	利益剰余金	24.50	平成21年9月30日	平成21年11月27日

「参考資料」

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円、%)

期別 科目	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)	増減	
	金額	金額	金額	増減率
資産の部				
流動資産				
現金及び預金	13,540,896	18,526,243	4,985,346	26.9
受取手形及び売掛金	8,303,227	10,985,629	2,682,402	24.4
仕掛品	430,800	434,673	3,872	0.9
その他	4,335,236	3,362,980	972,255	28.9
貸倒引当金	4,504	13,686	9,181	67.1
流動資産合計	26,605,655	33,295,840	6,690,185	20.1
固定資産				
有形固定資産				
建物及び構築物(純額)	8,209,577	8,637,957	428,379	5.0
その他(純額)	4,049,693	4,180,921	131,228	3.1
有形固定資産合計	12,259,270	12,818,878	559,608	4.4
無形固定資産				
のれん	-	195,000	195,000	100.0
その他	2,824,568	3,292,548	467,980	14.2
無形固定資産合計	2,824,568	3,487,548	662,980	19.0
投資その他の資産合計	4,220,461	4,628,389	407,927	8.8
固定資産合計	19,304,301	20,934,816	1,630,515	7.8
資産合計	45,909,956	54,230,657	8,320,700	15.3

(単位:千円、%)

期別 科目	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	増減	
	金額	金額	金額	増減率
負債の部				
流動負債				
支払手形及び買掛金	97,983	84,218	13,764	16.3
未払費用	3,811,479	7,000,354	3,188,875	45.6
未払法人税等	47,529	1,214,421	1,166,891	96.1
引当金	-	92,820	92,820	100.0
その他	1,328,509	2,634,693	1,306,184	49.6
流動負債合計	5,285,501	11,026,508	5,741,006	52.1
固定負債				
退職給付引当金	7,547,934	6,988,404	559,530	8.0
その他	45,506	46,348	841	1.8
固定負債合計	7,593,441	7,034,752	558,688	7.9
負債合計	12,878,942	18,061,260	5,182,317	28.7
純資産の部				
株主資本				
資本金	16,825,881	16,825,881	-	-
資本剰余金	14,451,416	14,451,738	321	0.0
利益剰余金	8,326,279	11,360,915	3,034,636	26.7
自己株式	5,891,046	5,891,268	222	0.0
株主資本合計	33,712,531	36,747,267	3,034,735	8.3
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	11,843	11,443	400	3.5
土地再評価差額金	883,049	883,049	-	-
為替換算調整勘定	7,218	11,644	4,425	-
評価・換算差額等合計	878,424	883,250	4,825	0.5
少数株主持分	196,907	305,379	108,472	35.5
純資産合計	33,031,014	36,169,396	3,138,382	8.7
負債純資産合計	45,909,956	54,230,657	8,320,700	15.3

「参考資料」

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:千円、%)

科 目	期 別	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減	
		(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	金 額	増 減 率
売上高		61,502,933	39,145,048	22,357,884	36.4
売上原価		43,610,537	34,942,007	8,668,530	19.9
売上総利益		17,892,396	4,203,041	13,689,354	76.5
販売費及び一般管理費		10,126,191	8,768,562	1,357,628	13.4
営業利益又は営業損失()		7,766,205	4,565,520	12,331,725	-
営業外収益		64,039	3,765,481	3,701,441	5,779.9
営業外費用		72,972	58,659	14,313	19.6
経常利益又は経常損失()		7,757,272	858,698	8,615,970	-
特別利益		10,933	38,786	27,853	254.8
特別損失		357,581	35,813	321,768	90.0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()		7,410,624	855,724	8,266,348	-
法人税等		3,328,671	452,089	2,876,581	86.4
少数株主利益又は少数株主損失()		19,865	13,579	33,445	-
四半期純利益又は四半期純損失()		4,062,086	1,294,235	5,356,322	-

「参考資料」

(3) 主要経営指標

(稼働時間)	平成21年3月期	平成22年3月期	
	第3四半期累計期間	第3四半期累計期間	前年同期比
メイテック〔MT〕	8.99h/day	8.50h/day	△0.49h/day
メイテックフィルダーズ〔MF〕	9.00h/day	8.58h/day	△0.42h/day

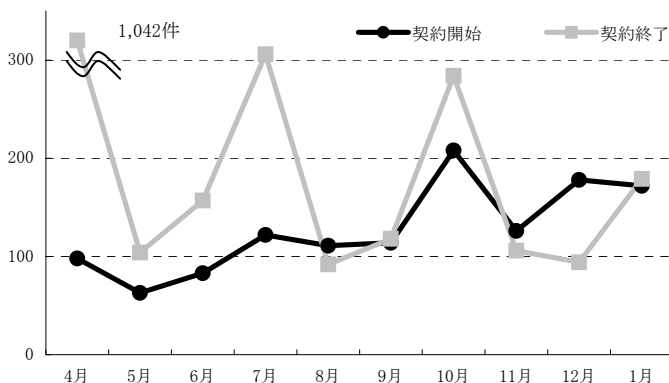
(4) グループ各社単体の実績 (平成22年3月期 第3四半期累計期間)

(単位:百万円)		売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
			前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
派遣事業	メイテック	30,037	△16,431	△2,790	△10,093	244	△7,563	97	△4,443
	メイテックフィルダーズ	5,154	△3,101	△1,299	△2,028	△613	△1,347	△894	△1,317
	メイテックキャスト	1,729	△969	△19	△97	△20	△98	△19	△61
	メイテックエキスパーツ	155	△94	△4	△3	△4	△2	△4	△2
ソリューション事業	メイテックCAE	805	+256	134	+77	134	+77	73	+41
	アポロ技研グループ	1,043	△376	△68	△90	△14	△44	3	△25
グローバル事業	メイテックグローバルソリューションズ	433	△451	△404	△126	△153	+124	△155	+122
	メイテック上海	22	+5	△5	+10	△4	+10	△4	+10
	メイテック大連*1	18	△15	△21	△14	△23	△15	△23	△15
	メイテック広州*1	1	△8	△15	+9	△15	+10	△14	+10
	メイテック西安	6	△5	△20	+1	△20	+4	△20	+4
	メイテック成都	4	+2	△28	+5	△28	+10	△28	+10
	メイテック上海人才	15	+15	△13	△13	△13	△13	△13	△13
サキヤリア事業	メイテックネクスト	251	△120	△16	+39	△16	+40	△17	+40
	all engineer.jp	10	0	△2	+16	△2	+16	△3	+16
	ビー・エム・オー・エー*2	173	△936	14	+11	3	+18	225	+262

*1:メイテック大連及びメイテック広州については教育事業を休止しています

*2:当該会社は、2009年5月1日付でテンプスタッフ株式会社へ譲渡する際に新設分割しており、DBM-Jの2009年4月業績分を含みます

(5) 契約実績推移【MT単体】※
(平成22年3月期 第3四半期累計期間)



※有事の事業環境下における重要情報の一環として記載しています

(6) 平成22年1月度稼働率 ※

(稼働率)	平成22年1月度
MT+MF+MGS	73.4%
メイテック〔MT〕	74.4%
メイテックフィルダーズ〔MF〕	75.5%
メイテックグローバルソリューションズ〔MGS〕	30.5%

※有事の事業環境下における重要情報の一環として記載しており、本日、当社HPにも掲載しています